

寺田 七海 さん

University College Utrecht (the Netherlands)

Major: Liberal Arts

「どうしてわざわざそんな大変な道を選ぶの？」

これはヨーロッパの大学へ進学するにあたって、恐らく私が最もたくさん言われたであろう言葉です。そして、海外へ進学しようか迷っている人は何度も自分に問いかける質問なのではないかと思います。私は留学向けのコースなどは一切ない日本の公立高校から、オランダの大学を三つ受験し、合格しました。また、少し珍しいことに、海外大学と同時に日本国内の大学も受験していました。海外への進学を考えているという人は、同級生には全くと言っていいほどいませんでしたし、高校の先生方も海外？何それ？という感じです。

——どうして海外じゃないといけないの？

——国内も海外も両方受けるなんて、どうしてそんなに欲張るの？

何度もそう聞かれました。私の答えは、いつも同じです。より自由でいたいからです。私は海外の大学にも国内の大学にも両方興味があるし、普通の公立高校出身だからといって、海外進学を制限されたくありません。何かを選び取るには何かを捨てなければならないとよく言いますが、私は自分のやりたいことには、ひとつでも多く手を伸ばしてきたいのです。これは、今まさに進路を選択しようとしている人たちに伝えたいことでもあります。私たちは自由で、欲張りでもいいんです。もちろん誰にでも海外進学が合っているわけではありません。ですがもしも、挑戦したいという気持ちがあるのに「自分の環境ではきっと無理だ」とか、「こういう風でなければならない」といった固定概念があなたの足を止めているのなら、どうか縛られないでください。たとえ周囲に同じような人がいなくても、まだ具体的な見通しが持てなくても、大丈夫だと、自分もそういう状況だったからこそ言えます。定まったひとつだけのやり方なんて無いし、目標まで至る道は人の数だけあっていいんだから、自分に合った方法が絶対に見つかります。

とはいえ、自分ひとりで全部を実現するのは流石に大変すぎます。私の進学も、ガイダンスカウンセラーである北村美和さんの力が無ければ、絶対に実現し得ないものでした。北村さんは、まだ行きたい国も大学も決まっていなかった私を、大学選び、出願、そして受験と、ずっと導いてくださいました。北村さんは、ヨーロッパ大学への進学に関する知識やノウハウを豊富に提供してくださるだけでなく、私たち生徒に真摯に向き合ってくださいます。私たちを決して子ども扱いせず、対等な個人として尊重してくださいますし、時々、自分では絶対に思いつかないだろう新鮮な視点から言葉をかけてくださいます。私自身、そのおかげで目の前がぱっと開けて、進むべき道が見えたことが幾度もありました。受験という人生の大切な選択をするにおいて、パートナーとして信頼できる方だと断言できます。

大学進学に至るまで、決して平坦な道のりではありませんでした。苦しいこともたくさんあったし、失敗したこともあります。ですが私は、この道に進まなければよかったと悔やんだことは一度もありません。選んだ道が正解か間違いかなんて誰にも分かりませんが、自分が最善を尽くしたと胸を張れる道なら、正解かどうかなんて関係ないと思うからです。将来を切り拓こうとしているひとりでも多くの仲間が、そのように思える道を歩んでいけますように。応援しています。